

1 財政の動向及び本市における行財政運営について

我が国経済の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響に十分注意していく必要があります。

令和5年度の地方財政は、地方交付税の原資となる国税収入等は増加したものの、社会保障関係費の増加が見込まれることなどにより、通常収支に係る財源不足は、依然として高い水準で推移し、厳しい運営となりました。

こうした状況を踏まえ、令和6年度の本市における行財政運営は、第7次総合計画の将来像である「住みつつけたいまち 子育てしたいまち さかど」の実現を目指し、基本理念である「参加と協働によるまちづくり」、「暮らしをまもり、お互いの個性を認め合うまちづくり」、「自然環境と生活環境をまもり、長所を生かすまちづくり」を3本の柱に据え、各種事業を着実に推進してまいります。

また、今後、扶助費の増加や、公共施設の老朽化に伴う維持や更新に係る投資的経費の増加が見込まれることなど、本市の抱える財政課題を念頭に置き、経費全般の事務事業の見直しを進め、健全な財政運営に努めてまいります。

2 予算に対する収入及び支出の状況について

令和6年8月31日現在における一般会計及び各特別会計の状況は、別紙のとおりです。